

講義名	日本近代思想史			授業形態	
担当教員	田中 美子	開講期・曜日・時限	前期 木曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

主題と概要

本学の建学の理念に中内は「個性主義」を掲げている。また中内は、福沢諭吉の「実学」の精神も受け継いでいる。これらはともに、近代の価値観である。本講義では、こうした価値観が日本社会において形成された背景を探り、その利点と問題点を考える。

到達目標

1. 近代日本が「個人主義」を導入した経緯を知り、その利点と問題点を考えられる。
2. 「個人主義」「個性主義」を踏まえたうえで、受講者自身がいわゆる自分軸を形築できるようになる。

提出課題

1. 授業毎の考察
2. 学期末レポート

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

提出された課題に対して、次回の授業で全体に向けてフィードバックする。

評価の基準

1. 授業内の考察：約50%
授業の内容が反映されていること。
2. 学期末レポート：約50%
文献や講義の内容が客観的にまとめられた上で、いわゆる自分軸が表現できていること。

履修にあたっての注意・助言他

1. 学期末レポート作成のために、新書か文庫程度の文献を購入する必要がある。
2. 授業計画は、受講者の関心に応じて、多少変更することができる。

教科書

.使用しない。 .

参考図書

.日本哲学史. 藤田正勝 昭和堂 4180 9784812217368

その他

- ・福沢諭吉『学問のすすめ』 ISBN9784003310236
- ・丸山眞男『日本の思想』 ISBN978400412039
- ・土居健郎『「甘え」の構造』 ISBN9784335651298
- ・夏目漱石『漱石文明論集』 ISBN9784003111109
- ・やなせたかし『わたしが正義について語るなら』 ISBN9784591137352
- ・岡倉天心『茶の本』 ISBN9784003311516
- ・柳宗悦『底輪四十年』 ISBN9784003316917
- ・西田幾多郎『善の研究』 ISBN9784003312414
- ・和辻哲郎『風土』 ISBN9784003314425
- ・丸鬼周造『「いき」の構造』 ISBN9784003314616

授業計画

1. ガイダンス
予習：シラバスの確認（1時間） 復習：授業ノートのまとめ（3時間）
2. 中内功の「個性主義」
予習：授業内容の下調べ（1時間） 復習：授業ノートのまとめ（3時間）
3. 丸山眞男
予習：授業内容の下調べ（1時間） 復習：授業ノートのまとめ（3時間）
4. 福沢諭吉
予習：授業内容の下調べ（1時間） 復習：授業ノートのまとめ（3時間）
5. 丸山眞男の福沢論
予習：授業内容の下調べ（1時間） 復習：授業ノートのまとめ（3時間）
6. 土居健郎
予習：授業内容の下調べ（1時間） 復習：授業ノートのまとめ（3時間）
7. 夏目漱石
予習：授業内容の下調べ（1時間） 復習：授業ノートのまとめ（3時間）
8. やなせたかし
予習：授業内容の下調べ（1時間） 復習：授業ノートのまとめ（3時間）
9. 中間まとめと質疑応答
予習：授業内容の下調べ（1時間） 復習：授業ノートのまとめ（3時間）
10. 岡倉天心
予習：授業内容の下調べ（1時間） 復習：授業ノートのまとめ（3時間）
11. 柳宗悦
予習：授業内容の下調べ（1時間） 復習：授業ノートのまとめ（3時間）
12. 西田幾多郎
予習：授業内容の下調べ（1時間） 復習：授業ノートのまとめ（3時間）
13. 和辻哲郎
予習：授業内容の下調べ（1時間） 復習：授業ノートのまとめ（3時間）
14. 丸鬼周造
予習：授業内容の下調べ（1時間） 復習：授業ノートのまとめ（3時間）
15. 最終まとめと質疑応答
予習：授業内容の下調べ（1時間） 復習：授業ノートのまとめ（3時間）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/> キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

「ネアカ のびのび へこたれず」の精神を培うとともに、現代社会の現象や事象のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定することができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

受講者は、授業毎の考察を主にポータルサイトを通じて提出する。
講師は、受講者の関心を次回以降の授業に反映させる。

実務経験の有無及び活用

特になし。

備考

特になし。